

1 基本情報

施設名称	此花スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和16年 3 月31日
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		81.6%
達成率		102.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.8%	98.8%	0.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	95.4%	93.5%	1.9%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	83.7%	74.6%	9.1%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	21,600,800	21,856,283	0	計画通りでした。
	計画	21,600,800	21,880,000		
利用料金（使用料）収入	実績	5,691,920	4,351,540	-2,398,080	休館明けと言うことで収入を多く見積もったことが要因です。
	計画	8,090,000	8,090,000		
自主事業収入	実績	10,170,338	8,037,525	-2,469,662	休館明けと言うことで収入を多く見積もりましたが、教室生の戻りが悪かったことが要因です。
	計画	12,640,000	12,640,000		
その他収入	実績	23,695	16,832	23,695	計画通りでした。
	計画	0	0		
合計	実績	37,486,753	34,262,180	-4,844,047	
	計画	42,330,800	42,610,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,918,595	11,992,912	-3,709,005	業務効率を徹底することができたため、計画を下回りました。
	計画	16,627,600	16,560,000		
物件費	実績	10,120,715	8,320,816	934,715	水光費が計画に対して減額しましたが、計画になかった卓球台（3 台）の購入が要因です。
	計画	9,186,000	9,260,000		
修繕費	実績	650,370	2,823,909	-3,776,830	大きな修繕がなかったことで、計画を下回りました。
	計画	4,427,200	4,700,000		
自主事業支出	実績	6,482,990	5,745,870	-1,997,010	教室生のマイナスが支出にも影響が出ました。
	計画	8,480,000	8,480,000		
その他支出	実績	6,600,487	4,737,662	2,990,487	本社管理費が計画を大きく上回ったことが要因です。
	計画	3,610,000	3,610,000		
合計	実績	36,773,157	33,621,169	-5,557,643	
	計画	42,330,800	42,610,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	102.0%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・水道光熱費削減の取り組み 温度の設定を一定に保ち急激な負荷がかからないことに留意しています。 ・館内整備や備品修理等スタッフによる改修や改善の取り組みを行っています。 ・事務所内回覧などは、使用済み用紙の再利用しています。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・スタッフの対応が良い。

・駐車場が無料なのがうれしい。

・体育場のフロアがきれいに管理されている。

■改善すべきところ

・更衣室が狭い。 →建物の構造上現時点では対応が難しいです。

・障がい者が利用しにくい。 →上記更衣室と同様難しい問題です。

・自販機に温かい飲み物が欲しい。 →来年度は冬季に温かいものを導入予定です。

6 外部専門家意見

利用者からは、スタッフ対応、無料駐車場、体育場フロアの管理状態について肯定的な評価がみられ、日常的な施設運営・維持管理については一定の水準が確保されている。一方、更衣室の狭さや障がい者の利用しにくさについて意見が寄せられており、建物構造上、短期的な対応が困難な課題についても、利用者への情報提供や運用面での改善、将来的な施設改修時におけるアクセシビリティ向上の検討が求められる。

収支面では、利用料金収入約569万円、教室等を含む事業収入約1,017万円、業務代行料約2,160万円を含めた総収入約3,749万円に対し、支出約3,677万円で、約71万円の収支プラスとなっている。教室事業については収入約942万円、支出約648万円で約294万円の利益を確保しており、施設貸出だけでなく教室事業が施設経営に寄与している点は評価できる。一方、報告書では体育館稼働率及び教室会員数の回復が計画を下回ったことが利用料金・事業収入の減収要因とされている。また、教室別にみると収益性には差があり、バドミントンや太極拳等が利益を確保する一方、フォークダンス、フラダンス等では赤字が確認される。

今後は、単純な施設稼働率の向上だけでなく、時間帯・諸室別の稼働状況や教室別の参加率・継続率・収支を分析し、利用余地のある時間帯への新規プログラム導入と既存教室の再編を進めることが望まれる。また、施設の老朽化が進む中、利用者の安全性・アクセシビリティに関する課題を整理し、日常的改善と中長期的な改修課題を区分した施設管理を期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立都島屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		95.0%
達成率		118.8%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		100.0%
達成率		125.0%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	87,188	86,516	672
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	23,388	22,215	1,173
稼働率			

令和7年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（アイスクレート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	67,231,600	66,878,000	0	計画通りでした。
	計画	67,231,600	66,878,000		
利用料金（使用料）収入	実績	29,570,050	28,594,650	-129,950	4月～6月は大阪万博開催の影響を受けてか若年層を中心に利用者が減少傾向でしたが、7月以降は盛り返し、最終的には前年度比103%となりました。
	計画	29,700,000	29,700,000		
自主事業収入	実績	43,892,642	43,093,179	11,040,642	会員数は前年比減となりますが短期教室および各種教室収入により前年度比101%となりました。
	計画	32,852,000	32,852,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	140,694,292	138,565,829	10,910,692	
	計画	129,783,600	129,430,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	48,466,301	54,345,366	-5,447,299	館長の交代および職員配置の最適化により、人件費の削減に繋がりました。
	計画	53,913,600	53,560,000		
物件費	実績	49,691,113	47,531,268	-3,808,887	6月まで冬季仕様の機械設定で運用していたためガス使用量が著しく増え、その後削減策を実施しましたが前年比104.6%と費用増となりました。
	計画	53,500,000	53,500,000		
修繕費	実績	3,267,022	4,565,121	-2,732,978	法令に関わる大きな修繕を試みましたが実施できず翌年度に持ち越す形となりました。優先順位を定め計画的に実施いたします。
	計画	6,000,000	6,000,000		
自主事業支出	実績	3,665,104	3,532,324	915,104	短期教室および各種教室費用増により、前年度比101%となりました。
	計画	2,750,000	2,750,000		
その他支出	実績	18,395,709	13,127,710	4,775,709	リクルート費、リース費増及び社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	13,620,000	13,620,000		
合計	実績	123,485,249	123,101,789	-6,298,351	
	計画	129,783,600	129,430,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	118.8%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	125.0%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ボイラーの設定温度、使用時間調整を実施しました。 ・水質管理の徹底によるプール逆流回数の縮減を実施しました。 ・内部書類は使用（印刷）済みの用紙を再利用を徹底しました。 ・自社スタッフによる壁面塗装、床面剥離清掃を実施しました。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<div>■良いと感じられたところ</div> <div><div>・よく清掃されている。</div><div>・スタッフの挨拶、元気、気配りが良い。</div><div>・スタッフの指導力が高い。</div></div> <div>■改善すべきところ</div> <div><div>・2階ロッカーの故障箇所が多い。⇒ 令和8年5月25日に更新予定。</div><div>・トレーニングルームのマシン故障が多い。⇒ 令和8年3月に全て復旧済。</div><div>・トレッドミルのイヤホンジャックの音質が悪い。⇒ 令和7年10月に復旧済。</div></div>
--

6 外部専門家意見

<p>25mプールの年間利用者は87,188人、トレーニング場は23,388人であり、特に65歳以上の利用者がプール47,757人、トレーニング場12,382人と多く、地域住民の健康づくりの場として重要な役割を担っている。障がい者についてもプール7,042人、トレーニング場3,963人の利用があり、多様な市民のスポーツ・運動機会を支える公共施設としての機能を評価できる。</p> <p>利用者からも清掃状態、職員の挨拶・気配り、指導力について肯定的な評価がみられる。また、ホームページのリニューアル、年間を通じた短期水泳教室の再開等が認知度向上、新規入会者獲得につながったと報告されている。</p> <p>収支面でも、総収入約1億4,069万円に対し支出約1億2,349万円で、約1,721万円のプラスとなっており、比較的良好な収支を確保している。一方、利用者数が増加しているにもかかわらず、減免利用者の割合増加により利用料金収入は減少していることが報告されている。これは公共スポーツ施設として重要な論点であり、利用料金収入だけでは施設成果を適切に評価できないことを示している。(高齢者の定期的なスポーツ実施に貢献していることを示している)</p> <p>今後は、利用者数・収入だけではなく、(これまでどおり)年齢層、減免利用、障がい者利用等を含む利用者構成を把握し、「誰にスポーツ機会を提供しているのか」という公共的価値と経営性を併せた取り組みを行うことが期待したい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	57,500	57,088	412
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	13,366	15,251	-1,885
稼働率			

利用状況（アイスクレート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	78,149,518	76,712,000	1,083,918	工事のための臨時休館補填金1,083,928円があり、プラスになりました。
	計画	77,065,600	76,712,000		
利用料金（使用料）収入	実績	25,213,300	26,004,850	-4,786,700	利用者が夏場までは順調に推移しておりましたが、臨時休館が1.5ヵ月あり収入源になり計画には達しませんでした。
	計画	30,000,000	30,000,000		
自主事業収入	実績	33,514,486	35,165,215	7,114,486	臨時休館もあり前年より減収にはなりましたが、新規カルチャー立上げ、時間増設により最計画より最終126%となりました。
	計画	26,400,000	26,400,000		
その他収入	実績	0	0	0	計画通りになりました。
	計画	0	0		
合計	実績	136,877,304	137,882,065	3,411,704	
	計画	133,465,600	133,112,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	43,092,123	44,265,210	-11,941,477	臨時休館日分が、計画、前年よりマイナスになりました。
	計画	55,033,600	54,680,000		
物件費	実績	39,963,312	48,059,494	-13,158,688	経年劣化の影響により、施設トラブルが多く発生し修繕費及び臨時休館日によるタイル美装での消耗品費が大幅増加しましたが、水道光熱費削減によりトータルで削減
	計画	53,122,000	53,122,000		
修繕費	実績	5,184,350	8,215,864	-815,650	臨時休館により経年劣化による修繕が抑制され、削減になりました。
	計画	6,000,000	6,000,000		
自主事業支出	実績	6,274,089	5,990,750	14,089	各種カルチャー教室増設及びスタジオプログラム実施枠を増やしたため指導員の費用がアップしました。
	計画	6,260,000	6,260,000		
その他支出	実績	27,142,134	15,086,507	14,092,134	減価償却費、社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員の増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	13,050,000	13,050,000		
合計	実績	121,656,008	121,617,825	-11,809,592	
	計画	133,465,600	133,112,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	112.5%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	112.5%	A	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・シャワーの水量調整。</div> <div>・プールオーバーフロー排水の抑制。</div> <div>・ボイラーの使用時間調整。</div> <div>・照明時間の調整（時間短縮）。</div> <div>・館内空調の温度調整および運転時間調整。</div> <div>・スタッフ控室の空調運転停止。</div> <div>・スタッフによる修繕、メンテナンス実施。</div> <div>・内部書類は使用（印刷）済みの用紙を再利用。</div>	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・施設休館日にタイル目地埋め実施いたしました。
- ・全館の害虫駆除を年2回を今年度は年3回に増やしました。
- ・衛生対策としてビート板をプールサイドで塩素消毒できるバケツを設置しました。

6 外部専門家意見

令和7年度は館内空調更新工事のため1月5日から2月7日まで休館しており、利用料金収入及び事業収入には工事休館の影響が生じている。その中で、25mプール利用者57,500人、トレーニング場13,366人の利用を確保しており、高齢者、障がい者等を含む幅広い利用者層に運動機会を提供している。

収支は総収入約1億3,688万円、支出約1億2,166万円で、約1,522万円のプラスを確保している。一方、施設の経年劣化に伴い多数の設備不具合が発生し、修繕費は約518万円となっている。報告書でも、可動床、ろ過ポンプ、空調設備等を含む施設トラブルが多発し、修繕費・消耗品費が増加したことが指摘されている。

今後は、故障後の修繕対応だけでなく、設備ごとの故障履歴、耐用年数、修繕費等を整理し、予防保全及び計画的更新へ移行することが重要である。施設の老朽化が利用中止、安全性低下、光熱水費増加等につながる前に市が担当する中長期的な更新計画と貴団体が担当する年間修繕計画を連動できるよう、市との情報交換を密にしていることを期待したい。

また、ジュニア水泳教室を中心に教室事業の収益力は高い一方、一部のスタジオプログラム等では赤字も確認される。次年度は、報告書に記載されている会議室等を活用した文化系自主事業の導入についても、単なるプログラム数増加ではなく、低稼働空間の有効利用、地域ニーズ、採算性という三つの観点から検討することが望まれる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

1 基本情報

施設名称	大阪市立浪速スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和16年 3 月31日
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.9%
達成率		123.6%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	99.7%	0.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.7%	99.1%	0.6%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.8%	96.3%	1.5%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.8%	96.2%	-2.4%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	77,192,560	77,048,000	0	計画通りでした。
	計画	77,192,560	77,048,000		
利用料金（使用料）収入	実績	15,507,500	9,268,180	4,507,500	HPでのトピックス及びSNSでの情報配信が利用者増につながりました。
	計画	11,000,000	11,000,000		
自主事業収入	実績	24,214,919	25,223,011	214,919	フラダンスなどのレッスンを追加し、新たな利用者獲得に努めました。
	計画	24,000,000	24,000,000		
その他収入	実績	158,400	0	158,400	大阪市福祉局から介護予防教室を受託しました。
	計画	0	0		
合計	実績	117,073,379	111,539,191	4,880,819	
	計画	112,192,560	112,048,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	23,772,538	23,704,513	-1,280,022	スタッフ業務クロス化を強化してシフトの効率化を実施しました。
	計画	25,052,560	24,908,000		
物件費	実績	68,273,094	65,554,403	2,133,094	水道光熱費において、温度設定や運転時間の制御により使用量の削減はできたもの単価上昇により超過しました。
	計画	66,140,000	66,140,000		
修繕費	実績	3,494,234	4,342,960	2,494,234	設備などの不具合箇所が増加により修繕費が大幅に超過しました。様々な機器の老朽化による不具合が多発していることが原因です。
	計画	1,000,000	1,000,000		
自主事業支出	実績	18,627,248	16,286,441	3,127,248	イベントに関わる人件費の増加分です。
	計画	15,500,000	15,500,000		
その他支出	実績	22,262,829	16,281,969	17,762,829	社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員の増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	4,500,000	4,500,000		
合計	実績	136,429,943	126,170,286	24,237,383	
	計画	112,192,560	112,048,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	123.6%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・ 自社スタッフが小規模な修繕を実施することで修繕費の抑制を行いました。</div> <div>・ 物品購入は当社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を迅速に確保でき消耗品費の抑制を行いました。</div> <div>・ 前年同様ガラス面の多いプールサイドに保温性の高いシートを設置してエネルギー使用抑制を行いました。またシートも次年度も使えるようにした事でゴミの減量に努めました。</div> <div>・ スポーツセンターでは、時間帯により窓を全解放して全換気を行う事により電気使用量を制御致しました。</div> <div>・ グループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進②各プロジェクト進行をWEB上で管理する事③打合せのWEB化により労務費制御に繋げました。</div> <div>・ スタッフ業務クロス化を強化してシフトの効率化を実施しました。</div>	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>■良いと感じられたところ</p> <ul style="list-style-type: none">・スタッフが明るく元気があって感じが良い。・わかりやすく指導してくれる。・休憩スペースが広くて良い。・サウナ(採暖室)、ウォータークーラーが充実している。 <p>■改善すべきところ</p> <ul style="list-style-type: none">・水回り、ロッカーをきれいにしたい。 → 巡回の頻度を増やして対応しています。・POPが多い。 → 必要なものに限定して掲示しております。・大きな声で挨拶するスタッフがいない。 → 適正な声量でのご挨拶を心がけます。
--

6 外部専門家意見

<p>第1体育場の年間使用率は99.9%、第2体育場も極めて高い使用水準にあり、多目的室についても92.8%となっているなど、施設稼働の面では非常に高い利用状況にある。全国大会等の開催や優先利用団体も増加し、早朝入場対応についても利用団体から好評を得ている。したがって、「利用者をさらに増やす」ことを単純な目標とする段階ではなく、高い稼働率を維持しながら利用者サービス、施設品質、安全性、収益性をどのように高めるかという段階にあると考えられる。</p> <p>一方、収支面では総収入約1億1,707万円に対し支出約1億3,643万円となり、約1,936万円の赤字となっており、大きな課題である。特に光熱水費約5,063万円、その他経費約2,226万円等が支出を押し上げている。報告書では冷水ポンプの漏水や施設の経年劣化に伴う修繕費増加等が要因として挙げられている。さらに、教室事業については約1,676万円の収入に対し約1,863万円の支出となり、約187万円の赤字である。</p> <p>今後は、高稼働率をさらに追求するのではなく、「高稼働でありながら赤字となる構造」の要因を明確にする必要がある。特に教室事業については公共的意義を踏まえつつ、参加者数、受講料、指導体制、実施回数、直接経費等を検証し、継続・改善・再編を判断することが望まれる。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立浪速屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.8%
達成率		103.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.8%
達成率		103.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		97.6%
達成率		122.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	56,529	53,639	2,890
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	26,714	24,888	1,826
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	132,335	125,154	7,181
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	11,795,288	7,793,000	824,664	計画通りでした。
	計画	10,970,624	7,793,000		
利用料金（使用料）収入	実績	202,991,730	134,686,760	95,491,730	オリンピック開催年度や近隣施設の休館などが追い風となり計画を大幅に超えました。
	計画	107,500,000	107,500,000		
自主事業収入	実績	137,995,868	173,593,253	-45,244,132	スケート教室を中心に通常教室、短期教室、パーソナルレッスンなど行っておりますが、水泳教室の売上が減収しております。
	計画	183,240,000	183,240,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	352,782,886	316,073,013	51,072,262	
	計画	301,710,624	298,533,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	90,041,772	107,656,523	4,113,148	スタッフ業務クロス化を強化してシフトの効率化を実施し、前年対比では抑制できました。
	計画	85,928,624	82,751,000		
物件費	実績	150,608,053	107,771,747	-6,073,947	ポンプの不具合により漏水が続き、光熱水費は計画を超過しました。
	計画	156,682,000	156,682,000		
修繕費	実績	9,111,458	11,984,548	1,111,458	設備などの不具合箇所が増加により修繕費が大幅に超過しました。様々な機器の老朽化による不具合が多発していることが原因です。
	計画	8,000,000	8,000,000		
自主事業支出	実績	24,741,326	46,891,745	-258,674	概ね計画通りでした。
	計画	25,000,000	25,000,000		
その他支出	実績	53,549,032	24,591,579	27,449,032	租税公課費、減価償却費、社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員の増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	26,100,000	26,100,000		
合計	実績	328,051,641	298,896,142	26,341,017	
	計画	301,710,624	298,533,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	103.5%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	103.5%	B	
利用者満足度（アイススケート）	122.0%	S	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・自社スタッフが小規模な修繕を実施することで修繕費の抑制を行いました。 ・物品購入は当社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を迅速に確保でき消耗品費の抑制を行いました。 ・前年同様ガラス面の多いプールサイドに保温性の高いシートを設置してエネルギー使用抑制を行いました。またシートも次年度も使えるようにした事でゴミの減量に努めました。 ・スポーツセンターでは、時間帯により窓を全解放して全換気を行う事により電気使用量を制御致しました。 ・グループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進②各プロジェクト進行をWEB上で管理する事③打合せのWEB化により労務費抑制に繋がりました。 ・スタッフ業務クロス化を強化してシフトの効率化を実施しました。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>■良いと感じられたところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが明るく元気があって感じが良い。 ・プールサイドの清掃が行き届いている。 ・わかりやすく指導してくれる。 ・休憩スペースが広くて良い。 ・サウナ(採暖室)、ウォータークーラーが充実している。 <p>■改善すべきところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水回り、ロッカーをきれいにしたい。 → 巡回の頻度を増やして対応しています。 ・POPが多い。 → 必要なものに限定して掲示しております。 ・大きな声で挨拶するスタッフがいらない。 → 適正な声量でのご挨拶を心がけます。 ・トレーニングマシン上でスマホを見ながら休憩しているので禁止にしたい。 → 個人のご事情で携帯電話が必要な方もおられるため、インターバル中のスマホの操作は禁止としました。
--

令和7年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

25mプールの年間利用者は56,529人、トレーニング場は26,714人となっており、プールだけでなくトレーニング場についても相当規模の利用がある。また、利用者からはスタッフ対応、清掃、指導、休憩スペースや採暖室等について肯定的評価がある一方、水回り・ロッカー等の改善要望も寄せられている。

収支面では、利用料金収入約3,232万円、事業収入約6,525万円、業務代行料約2,829万円を含む総収入約1億2,586万円に対し、支出約1億2,471万円で、約115万円のプラスを確保している。特に教室事業は約5,917万円の収入を確保しており、直接的な教室経費約84万円との差額は約5,833万円となっている。教室事業が施設収入を支える重要な役割を担っている。

一方、管理面ではトレーニングマシン、プール設備、空調、ろ過設備等について年間を通じて多数の修繕が行われており、施設の経年劣化への対応が継続的課題となっている。

今後は、教室事業を施設の強みとして維持・発展させながら、クラス別の定員充足率や継続率を把握し、人気クラスへの集中を適正化するとともに、低利用クラスの再編を進めることが望まれる。教室振替のWEB化等、利用者利便性とスタッフ業務効率を同時に改善する取組については評価でき、今後もDXによるサービス向上と業務効率化を一体的に進めることを期待する。

また、老朽設備については個別修繕の積み重ねだけではなく、故障頻度・修繕額・利用への影響を蓄積し、市とのコミュニケーションをとりながら更新優先順位を明確にした予防保全型の施設管理へ移行することが望まれる。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	